

## 第7回高知工科大学新学群検討会 議事要旨

日時：令和4年5月20日（金）14:00～15:00

場所：高知県人権啓発センター 6階ホール

### ●検討会委員

武市委員（委員長）、中城委員（副委員長）、磯部委員、岡村委員  
清水委員、竹崎委員、森下委員  
（欠席）井瀬委員、弥勒委員

武市委員長 本日欠席の委員からのご意見について、事務局から報告をお願いします。

事務局 井瀬委員からは、「意見はなし」。弥勒委員からは、「時代の流れに沿うものであり、その趣旨に賛同する。ただ、その費用の大きさを考えると県立大学である以上、県民から費用対効果の視点も求められる。県内就職で県経済の発展に貢献することにより、投資の回収が促進される。私たち、地元企業も選ばれる企業になることが必要。」との連絡をいただいた。

武市委員長 「最終報告書（案）」について事務局及び高知工科大学より説明をお願いします。

事務局・高知工科大学 ……説明……

武市委員長 最終報告書（案）について、各委員から意見があればお願いします。

竹崎委員 3月末まで高知市内で高校の校長をしていたので、その視点から意見を述べたいと思う。高校の立場から言うと、高校生の進路選択の幅が広がり、また県内に最先端の学びができることはありがたく、大いに期待している。

高大連携が重要である。現在、小中学校ではプログラミングの授業が始まっており、高校では、今年の4月からは、情報Ⅰの科目が必須となった。小中高の連携は進んでいるが、そこに大学との連携ができてくれば、高知県としての人材育成が進んでくるのではないかと。

また、新学群について、生徒からはイメージしづらく、わかりづらいところもある。教員も同様。新学群では何を学べて、将来自分がどのようになれるのかをできればわかりやすく明記していただくと生徒に対しても納得してもらえないのではないかと。

森下委員 基本的にはこれでかまわない。私は高知県公立大学法人の評価委員でもあるため、単年度の評価をしていく立場である。結論の締めで具体的なKPIの設定をした上で取り組んでいくとあるが、民間では100%課題達成するのが難しく、社外委員からのご意見をもらうが、具体的な数値目標を立てて取り組むことが、果たしてどうなのか。のちに評価する立場からみて大丈夫なのかと心配である。

磯部委員 KPIは数値で表示されるため、誰から見てもわかりやすいという長所はあるが、KPIの数値そのものを達成しようすると、当初の目的からはずれ

てしまいがちなのが欠点である。そこで、皆さまと共有しやすくかつ本来の目的を外れないようにすることが必要だと思っている。それは、KPIをさらに定性的に評価するなど、わかりやすいものを設定したいと考えている。

- 森下委員 数値目標をただ達成するだけにならないような取り組みをお願いする。
- 中城副委員長 高知工科大学の考え方、今後の方向性については、高知県よりの考え方で考えてくれたのがよく分かる。報告書の形式の話になるが、ヒアリング結果を深掘りして、その中での問題点はこれで、それに対してこうするという流れだとわかりやすいと思う。ヒアリング結果からの繋がりが分かりづらかった。
- 武市委員長 ヒアリング結果との相関は見えづらいのは、感じるところである。最終（案）の結論はそのとおりだが、プロセスの部分の修正は可能か。
- 事務局 本日、一定の方向性を決めていただければ、軽微な修正は可能である。
- 武市委員長 修正後、連絡してもらおう流れでかまわないか。
- 全員 かまわない。
- 磯部委員 対応については、一つ一つの要望に対して、手段は1つではないということもあり、報告書の形式に準じて回答している。要望を満足にしていくための大学の手段を6番の回答とさせていただきたい。
- 清水委員 ヒアリングの話をもらってから、ヒアリングに先立って、いろんな方に説明をして回った。その中でいろんなご意見と考え方について勉強させてもらった。この検討会の機会をいただいて、その間に本筋は変わらないが、感覚的に構想はいい方に変わっている。これからもカリキュラムやPBLをブラッシュアップして本当に使える人材を育成するように全力で進めていきたい。
- 岡村委員 本検討会では、多くの方々にヒアリングに参加していただき、ご意見を伺った。新学群には、県立の大学として、本県の課題解決や本県経済の発展に貢献することが強く期待されている。こうした期待に応えるためには、最終報告書（案）の結論の後半にあるとおり、今後、関係機関との連携による機能強化や、新学群の教育、研究を本県への貢献につなげる仕組みの構築が重要。県としても、文化生活スポーツ部のみならず、産業振興推進部、商工労働部、教育委員会事務局などと連携し、大学と共に具体的な検討を進めていきたい。また、KPIについては、新学群の目的達成に向けた進捗を測るために、適切な指標を設定することが重要と思われる。
- 武市委員長 ありがとうございます。先ほど、最終報告書の修正後、みなさまに確認してもらおうとお伝えしたが、委員長と事務局に一任していただいてもよいか。

全員

異議無し

武市委員長

今回の意見を含めて最終報告書とする。結論については、そのとおり。創設の目的①、②が評価されていくように、この検討会が無意味にならないように動いてもらいたい。意味のないKPIではなく、わかりやすいKPIが設定されるのを望む。

<了>